

週間漁海況情報—第15号

平成24年4月16日

内容は水産研究所ホームページ <http://www.pref.tokushima.jp/tafftsc/suiken/> で公開され、毎週月曜日夜間に更新します。

徳島県立農林水産総合技術支援センター
水産研究所

1. 海況の経過

右に千葉県、東京都、神奈川県、静岡県、三重県及び和歌山県が共同で作成した海況図 (H24.4.16) を示した。

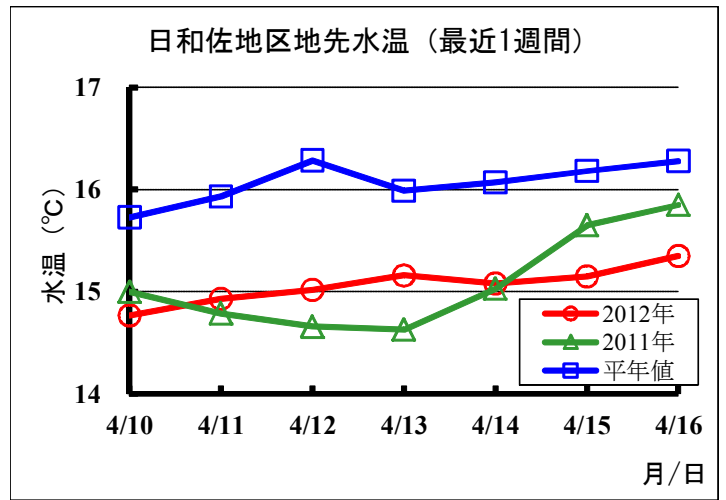
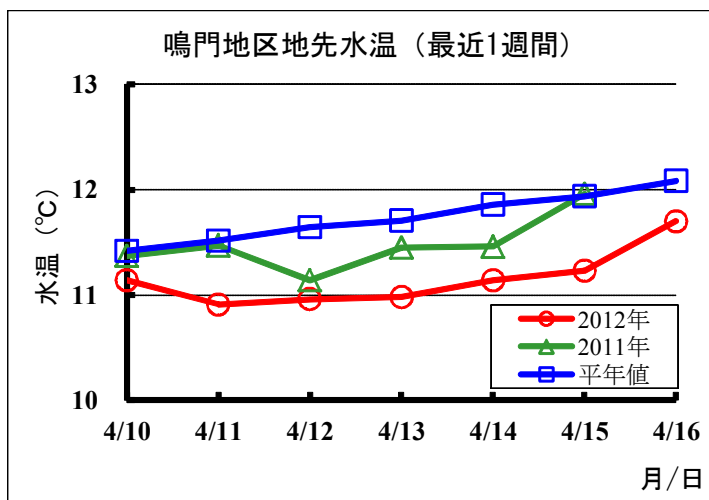
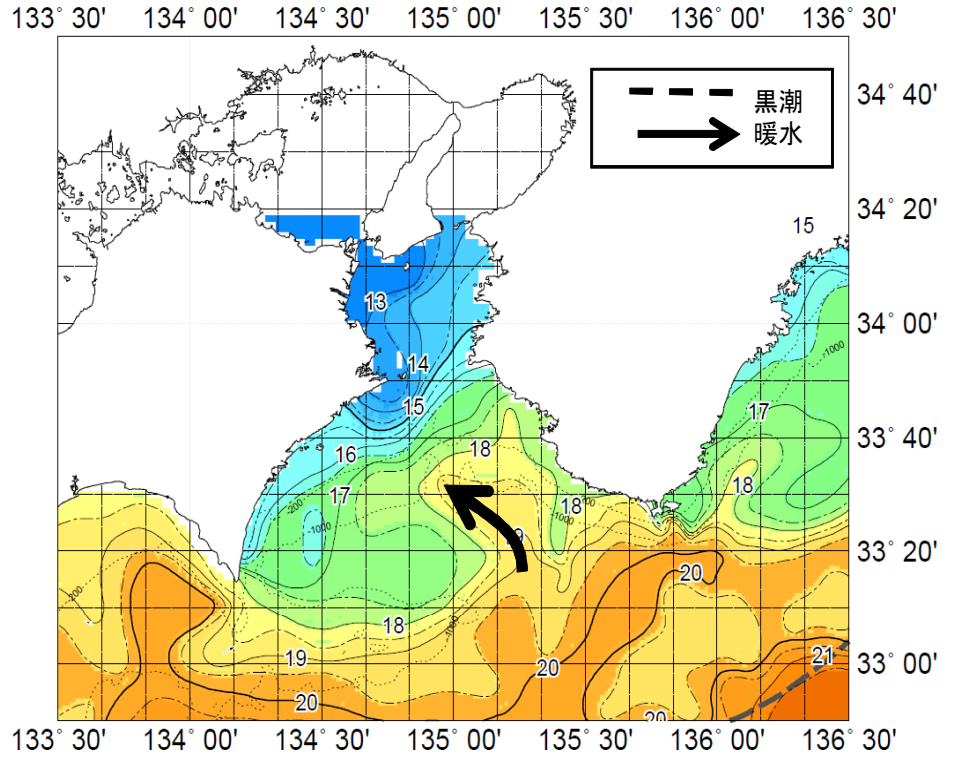
黒潮は、室戸岬沖でかなり離岸、潮岬沖でやや離岸している。

黒潮本流の表面水温は、20～21℃台である。徳島沿岸の表面水温は、播磨灘で11℃台、紀伊水道で11～15℃台、海部沿岸で14～17℃台である。

紀伊水道外域では和歌山県沿岸からゆるやかな反時計回りの暖水流入がある。

海部沿岸では、内海系水の南下がみられ、高知県に至るまで16℃以下の内海系水に覆われている。

地先水温 最近1週間の地先水温は、鳴門地区で「やや低め」～「平年並み」の10.9～11.7℃、日和佐地区で「やや低め」の14.8～15.4℃、牟岐地区は「低め」～「やや低め」の14.6～15.5℃で推移した。



* 水温偏差の目安

平年並み: ±0.49以下, やや高め(やや低め): ±0.50～1.49, 高め(低め): ±1.50～2.49, かなり高め(かなり低め): ±2.50以上

2. 漁況の経過

延縄：海部沿岸でハモが1.0トン（1日1隻当たり25kg）水揚げされた。

建縄：海部沿岸でブリが0.3トン（同10kg）水揚げされた。

小型定置網：海部沿岸で、ウルメイワシが0.3トン（同24kg）、キビナゴが0.7トン（同66kg）、マイワシが0.6トン（同39kg）水揚げされた。

大型定置網：海部沿岸で、中主体にイシダイが0.3トン（同26kg）、中主体にクロダイが0.2トン（同41kg）、小主体にスルメイカが1.0トン（同148kg）、ブリが3.2トン（同636kg）、メジロが3.5トン（同694kg）中・小主体にマダイが0.6トン（同89kg）水揚げされた。

釣り：海部沿岸で、大・中主体にアカムツが0.3トン（同15kg）中主体にカツオが3.0トン（同64kg）、小主体にキハダが0.5トン（同21kg）、紀伊水道で、特大主体にタチウオが0.2トン（同16kg）水揚げされた。

パッチ網：紀伊水道でシラスが36.3トン（同884kg）水揚げされた。

漁業種別集計表（抜粋） 4月9日～4月15日

県下6漁協から聞き取り

漁業種類	漁獲海域	魚種	延べ出漁隻数	漁獲量(kg)	1日1隻当たり漁獲量(kg)	銘柄・その他
延縄	海部沿岸	ハモ	39	967	25	
建縄		ブリ	30	285	10	
小型定置網		ウルメイワシ	11	260	24	
		キビナゴ	11	723	66	
		マイワシ	16	618	39	
大型定置網		イシダイ	12	311	26	中主体
		クロダイ	6	247	41	中主体
		スルメイカ	7	1,034	148	小主体
		ブリ	5	3,178	636	
		メジロ	5	3,470	694	
		マダイ	7	624	89	中・小主体
釣り		アカムツ	18	265	15	大・中主体
		カツオ	46	2,952	64	中主体
	キハダ	24	508	21	小主体	
	紀伊水道	タチウオ	14	228	16	特大主体
パッチ網		シラス	41	36,250	884	

週間予報：黒潮は、室戸岬沖で及び潮岬沖で「やや離岸」で推移する見込み。

地先水温は、鳴門地先は「やや低め」～「平年並み」の11～12℃台、日和佐地先は「やや低め」の15℃台で推移する見込み。

昨年同時期の主な漁獲傾向：昨年4月11～17日の海部沿岸では、延縄でキダイが0.2トン、建縄でブリが0.8トン、小型定置網でアオリイカが0.3トン、キビナゴが0.7トン、サバ類が1.9トン、マアジが1.4トン、マイワシが3.1トン、大型定置網でアオリイカが0.7トン、クロマグロが0.3トン、小主体にスルメイカが0.4トン、ブリが5.3トン、メジロが2.5トン、中主体にハマチが3.3トン、マアジが1.2トン、マダイが0.4トン、マルソウダが1.0トン、タチウオが0.2トン、メジロが0.4トン、ハマチが0.3トン、紀伊水道でタチウオが0.6トン水揚げされていた。